

令和5年度

委員会だより

N O . 3

子育て委員会編

北海道PTA連合会

令和5年12月2日（土）に今年度最後の第3回委員会が開催され、今年度の取組や研究のまとめと次年度の方向性等について協議しました。

○第3回委員会の協議内容○

- (1) 「令和5年度 札幌大会」について～参加役員より報告がありました。
 - ※組織・連携委員会推薦提言発表～第1分科会（組織運営） 壮瞥町立壮瞥中学校PTA
 - ※道P連担当提言発表～第1分科会（組織運営） 中標津町立中標津東小学校PTA
 - 第5分科会（食育・情報） 足寄町立足寄小学校PTA
 - 小樽市立高島小学校PTA
- (2) 実践交流について～「地区子育て研報告書」を参考に各地区子育て委員の皆様から報告がありました。
 - ①地区子育て研修会交流
 - ②市町村P連、単位PTAの取組
- (3) 広報活動について～各地区の状況を交流し、会報の執筆について確認しました。
 - ◇HPへの投稿状況
 - ◇会報の執筆依頼について
 - 会報219号（R6.3）・220号（R7.6）執筆依頼について
 - ～219号について、釧路管内P連には、地区研・子育て研で執筆依頼をし、オホーツク東部地区P連には理事挨拶で依頼しました。釧路市P連には理事挨拶で依頼しました。
- (4) 令和7年度提言に向けた取組について下記のように協議、確認しました。
 - ①令和6年度中に提言発表PTA（学校）を決定する。
 - ②提言発表とは何か。
 - ・北海道PTA連合会と札幌市PTA協議会で北海道ブロック協議会を構成しており、研究大会は北海道ブロックで開催する。
 - ・北海道ブロック研究大会稚内大会（仮称）に際して、分科会の中でPTA活動を行っていく上で参考になるような実践（活動）を話して（提言発表して）いただく。
 - ・分科会は例年5つ＋特別分科会2つ。それぞれにテーマがあり、5つの中のどこかの分科会での提言発表となる。現在未定。
 - ③提言決定までの大まかな流れ
 - ・令和6年度第1回子育て委員会（7月開催）で、決定方法確定。
～子育て委員会ならではの（委員会の目的に立ち返って）提言内容の確認をし、情報収集を行う。（例：参加子育て委員からの情報、アンケート実施 等々）
 - ・第2回子育て委員会（10月開催）で、経過を確認。提言PTA（学校）とどの分科会での提言にするかメドをつけ、12月の委員会までに推薦するPTA（学校）に教師代表委員を中心に依頼する。委員長が最終確認。
 - ・第3回子育て委員会（12月開催）で、10月までにメドをつけたPTA（学校）について全体で確認し決定する。
- (5) 令和5年度研究のまとめ・次年度の方向性について協議し、下記のような意見が出されました。
 - ①研究集録の執筆は佐々木教師代表が担当する。
 - ②令和5年度研究のまとめについて協議しました。
 - 【今年度の研究テーマ】
 - ・豊かな心をもった子どもを育てる親のあり方
 - 【成果】
 - ・4年ぶりに参集型で実施する地区が多かった。昨年度までの経験を生かしてZOOM等も活用

し研修会を実施した地区もあった。参集型で実施した地区では、以下のような工夫を行いながら会堂による活発な研修がなされた。

- ・ワークショップなどの体験型・パネルディスカッション形式・グループ討議・講話など、参加者にとって有意義なものとなるよう実施形式や研修内容を工夫し充実させた。
- ・地区の教育局や教育委員会等の関係機関、地域の関係者との連携を深め、協力していただきながら実施することができた。
- ・家庭教育のあり方、親子のかかわり方を見つめ直す機会となるよう、親同士の「横のつながり」を構築することの重要性を実感し、研修会の意義を改めて確認する機会となった。
- ・不登校など、コロナ禍以降さらに増加しつつある問題に触れる機会となった。不登校の子どもは勿論、親の支援も含めて関係機関や地域の支援団体、支援者との連携について情報が得られた。
- ・子どもが健全に成長するために、家庭と学校がどのように連携していくとよいかを考える機会となった。
- ・スローガンにあるように親自身が人として輝き、健康で笑顔であることの大切さを見つめ直す機会となった。その一助となるような研修会を今後も継続したい。
- ・道PのHP投稿について体験研修を行い各地区との交流への足掛かりとした。
- ・昨年度より多くの投稿があり、各地区での実践や道Pの取組を発信することができた。
- ・投稿画像に学校名を付すことにより、単Pの会員の閲覧も促す工夫となった。
- ・子育て委員会の場でテーマの候補例を話し合った。

【課題】

- ・研修会実施にあたっては、地区により予算の関係上、講師依頼の選択に苦慮する場合がある。
- ・研修会実施に向けた地区子育て委員会の会議開催の時間帯や形式（参集・オンライン）を工夫し、組織体制の維持につなげる必要がある。
- ・参加者募集の方法や研修会の名称などについても工夫し、より広く多くの参加者を得ることで、コロナ禍で停滞していた活動を現在に合った形で活性化する必要がある。
- ・会議に欠席した委員への情報共有や連絡を取りやすくする工夫として、グループLINEの活用なども考えられる。
- ・委員が会議等に参加しやすくなるよう、子どもを連れて参加できるようにするなど、環境づくりも大切である。
- ・ポストコロナの今こそできる交流を活用し、現在必要とされる家庭教育のあり方について情報交換・実践交流・意見交換を目指していく。
- ・ICT機器の使いせ方や家庭でのルール作り、SNSとの接し方など、子どもたちが上手にメディアと付き合っていく方法をさらに模索する機会としていく。
- ・HPへの投稿の仕方について、会員が入れ替わっても活用が進むように、毎年取り組む。
- ・広報紙（紙による発信）のよさを見直す機会にもしていく。
- ・全道各地区の特徴的な取組を、HPや会報誌、各ブロック研など様々な場を使って随時発信していく。
- ・担当地区の決定、提言に向けた役員の任期継続等、見通しと準備が必要である。
- ・事務局と連携し、スムーズな計画と準備が理想的である。

【方向性】

- ・ポストコロナおよび持続可能なPTAを目指し活動の目的・趣旨等の共通理解に努める。
- ・会議について、集合型・WEB型等、実態に合わせて開催する。
- ・子育ての悩みを共有する場を設定し、意見交流や地域関係機関と連携できるよう情報発信を推進する。
- ・関心の高いテーマをもとに家庭教育のあり方を研修し、取組の交流をする。
- ・ホームページによる継続的な情報発信を推進する。
- ・ホームページについて周知し、投稿・閲覧を呼びかけ、会員による活用の促進を図る。
- ・各地区の取組の情報共有化と参考資料の整備をする。
- ・広報紙コンクール参加への呼びかけを推進する。
- ・テーマの絞り込みや、担当地区を決定する。
- ・提言までの取組や計画を決め、取りかかる。

北海道PTA連合会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目
時計台通ビル6階
TEL(011)251-6937 FAX (011)210-0929
Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp